Anniversary 100th

ひかり

「生徒一人ひとりが太陽輝く学校」

～三商定時制課程だからできる 夢の実現～

スクールミッション

思いやりと規範意識をもった社会性豊かな人間、社会貢献する人間、個性と創造力豊かな人間の育成を教育目標とし、基本的人権を尊重した望ましい集団生活や基礎的・基本的な学習、すぐれた伝統を継承することを通じて、心身の調和のとれた発達と個性の伸長に努め、社会に役立つ知識・技術を習得し、自ら主体的に思考判断する生徒を育成します。

教育目標

- 1 生徒一人一人の基本的人権を尊重し、望ましい集団活動を通して、心身の調和のとれた発達と個性の伸長に努め、健康の増進を図るとともに、思いやりと規範意識を持った社会性豊かな人間を育成する。
- 2 基礎的・基本的な学習を通じて、社会に役立つ知識・技術を習得させ、地域社会の一員として、産業の発展や文化の向上など社会に貢献する人間を育成する。
- 3 すぐれた伝統を継承するとともに、自ら主体的に思考・判断する態度を育て、個性と創造力豊かな人間を育成する

1. 目指す学校像

- (1) 生徒の人権を尊重しつつ、基本的な生活習慣を確立し、個性の伸長に努め、豊かな人間性の育成と健康の増進を図る。
- (2) 基礎学力を身に付けさせ、生徒一人一人の能力や適性を引き出し、主体的に判断し行動できる資質や能力の育成を図る。
- (3) わが国の経済社会を担う人材を育成するため、ビジネスに関する基本的な知識と技術を習得させるとともに、専門性の深化を図る。
- (4) 地域貢献活動や地域連携活動により、健全育成を図るとともに、魅力ある商業高校として、地域に愛され、深く信頼される学校として教育活動の充実を図る。
- (5) 国際化が進むわが国の経済社会の変化に適合していくため、体験的な活動により異文化理解をすすめ、グローバル化に対応していく文化的な素養を高揚させる。

2. スクール・ポリシー

- (1) グラデュエーション・ポリシー
 - ①社会において必要となる、基礎的・基本的な学力を身に付けた生徒。
 - ②商業高校で学んだ証として、検定職業資格3級以上を複数種類取得した生徒。
 - ③自らすすんで自己の進路（就職・進学）を切り開いていくことのできる生徒。
- (2) カリキュラム・ポリシー
 - ①学習や学校行事、部活動を通して、自ら考え行動できる明るい誠実な生徒。
 - ②簿記やワープロなど、積極的にビジネスに関する検定職業資格3級以上を取得する生徒。
 - ③自己の個性を伸ばすとともに、他人を尊重し思いやりをもつことのできる生徒。
- (3) アドミッション・ポリシー
 - ①意欲をもって、日々の学習や学校行事、部活動などに取り組むことのできる生徒
 - ②簿記やパソコンなどの商業の学習に興味をもち、粘り強く学習することのできる生徒
 - ③学校や社会のルールやマナーを守り、学校生活を送る意欲をもった生徒

本校定時制は、創立以来、健康明瞭で勤労を貴び、良識ある人物の育成を目指し生徒一人ひとりの人権を尊重しながら、心身とも健全な人物の育成を図っている。このことを踏まえ、日常の教育活動を充実させつつ、生徒の満足、保護者の信頼、地域の応援、教職員の充実が達成できる以下のような学校づくりを進めていく。

観点	中期的目標と方策	今年度の教育活動の目標と方策	重点目標及び方策
学校経営・組織体制	<p>(1) 都立高校学校経営指標に基づいた学校運営を通して、全教職員が課題を共有し、また、課題解決に向けた協力体制を強化し、「誰一人取り残さないきめ細やかな教育」を実現できる組織的な学校運営を推進する。</p> <p>(2) 教職員のライフ・ワーク・バランスを意識しつつ、執務ガイドラインを活用して各分掌の業務を精査・整理し、PDCA サイクルによる継続的な改善を通じて、効率的かつ課題解決型の校務運営を実現する。</p> <p>(3) 若手教職員等の指導力向上を図るために、OJT 診断基準を活用したOJTの推進に取り組み、組織的な支援体制を構築し、学校の教育力及び組織力の向上を図る。</p>	<p>(ア) 生徒のニーズにあった少人数授業、習熟度別授業を実施し適宜改善を図る。</p> <p>(イ) 計画的・系統的な学習指導を実施し、検定を活用して学習の定着を図る。</p> <p>(ウ) 教育課程のさらなる充実のため、授業観察を通じて、教員の資質及び授業力の向上を図る。</p> <p>(エ) 地域の教育力を活用した教育活動を推進し実務的なスキルを身に付けさせる。</p> <p>(オ) 計画的な仕事の進め方により業務の効率化を徹底し、教職員一人ひとりのライフ・ワーク・バランスの実現を図る。</p> <p>(カ) 生徒等の個人情報等を適切に管理・運用するため、「保有個人情報安全管理基準」等の規定を遵守し、教職員の意識を高めながら服務事故ゼロを目指す。</p>	<p>(あ) 中学校段階の学習内容の学び直しにより基礎的基本的な学力の確実な定着を図るとともに、選択科目や学校設定科目の検証と改善を行う。</p> <p>(い) 学校の特色や生徒のニーズが明確に反映できる内容への深化を図るために、教育課程について調査研究に努め、実施に向けた教育課程編成に取り組む。</p> <p>(う) 学校運営連絡協議会との連携を図り、学校運営上の課題解決の見直しや具体策を構築する。</p> <p>(え) 体罰及び不適切な指導の禁止について教職員に周知し研修等を実施して徹底を図る。</p> <p>(お) 教科「人間と社会」を活性化させるために外部講師を招き、体験的な学習を実施する。</p> <p>(か) 長期休業日中における計画的な研修や、教職員研修センター等での研修を通して、学習指導力や生徒指導力を向上させる。</p> <p>(き) 授業研究・研究協議を実施し、授業力を向上させる。</p> <p>(く) 学校運営連絡協議会や生徒による授業評価結果を活用し授業改善を図る。</p> <p>【数値目標】</p> <p>①体罰等、不適切な指導を含む服務事故 0件</p> <p>②学習活動における外部講師指導実施 15時間以上</p>
学習指導	<p>(1) 読み・書き・計算・一般常識など、社会生活に必要な知識や技術を習得させるとともに、ビジネスに関する基礎的・基本的な資格取得の充実を図る。</p> <p>(2)</p> <p>(3) 教育活動が円滑に推進できるよう、よりよい教育環境を整える。</p> <p>(4) 授業や特別活動における一人1台端末の効果的な活用を行う。</p> <p>(5) 分掌や教科等における自己評価、学校運営連絡協議会における評価、生徒による授業評価等を通して授業や特別活動等の見直しと改善を図り、魅力ある教育課程を編成する。</p> <p>(6) 生徒や保護者、地域の期待に応えるため教職員の組織的対応力を高め、課題に誠実に対応し、サービスの厳正を図る。</p>	<p>(キ) 「生徒自らが学びたい授業」の実践を促進するため、基礎、基本を確実に定着させる。</p> <p>(ク) 学習の基礎・基本の充実のため、主体的学習態度の育成し、学力向上を図る。</p> <p>(ケ) 学習意欲を高めるための基本レベルの資格取得や一般教養試験を奨励して指導を行う。</p> <p>(コ) 地域との連携をおこなって、「課題研究」の内容を充実させる。</p> <p>(サ) 特別な支援を必要とする生徒について、合理的配慮をおこないながら、個性の伸長を図る。</p>	<p>(け) 「アクティブ・ラーニング」の視点に立った学習指導や生徒同士の教えあいや討議等さまざまな授業形態の工夫をおこなう。</p> <p>(こ) 生徒のニーズや実態に応じて、学習到達目標の設定や、1時間ごとの授業のねらいを明確にし、少人数での利点を生かした授業を通して基礎学力の定着を図る。</p> <p>(さ) 特別な支援が必要な生徒に対して、基礎的内容の定着度を把握し、個別指導を充実させる。</p> <p>(し) 各教科および教科横断的なアプローチによって一般教養への理解と関心を育む。</p> <p>(す) ICT 機器や一人1台の端末を有効に活用し、デジタルリテラシーを高める。</p> <p>(せ) 計画的に補習・補講及び個人面談を実施し、学習内容の定着に努める。</p> <p>(そ) 商業科目への学習のモチベーションを高めさせ生徒全員が検定3級以上合格を目標とする。</p> <p>(た) 私語・飲食等の禁止、携帯電話の使用厳禁、チャイムスタート等の授業規律の確立に努め、規範意識を高めさせる。</p> <p>(ち) 地域との連携を通じて、ビジネスに必要な基本的な知識や技術を定着させ、学習成果の発表の場を活用して、自分の考えを効果的に伝える能力を高める。</p> <p>(つ) さまざまな価値観を尊重し、多様な人々と協力・連携して課題に取り組む姿勢を育む。また、日本人としての自覚を持ちつつ、広い視野と柔軟な国際感覚を養うことを目指す。</p> <p>【数値目標】</p> <p>①簿記検定3級以上取得者 20名以上</p> <p>②文書デザイン他情報系検定3級以上取得者 10名以上</p> <p>③ワープロ検定3級以上取得者 10名以上</p> <p>④授業外補習・補講の実施 (延べ80時間以上)</p>
生活指導・健康づくり	<p>(1) 家庭との連携を強化し、きめ細かい指導により、生徒に自覚と責任を持たせるようマナーの定着を図るなど基本的生活習慣や授業規律を確立する。</p> <p>(2) 奉仕等体験活動を機会に地域と連携し、ビジネスマナーを習得させる。学校で学んだ知識や技術の活用を図り、ビジネス社会に通用する実践的な資質や能力を育成する。</p> <p>(3) 学校給食を教育活動の一環として位置付け、食育として生涯を通じた健全な食生活の実現や健康の確保等が図れるよう、自らの食について考える習慣や食に関する様々な知識を身に付けさせる。</p> <p>(4) 感染症予防を徹底し、日常より生徒の健康と安心・安全を第一とした教育活動を推進する。</p> <p>(5) 自己肯定感の向上を図るため、自殺防止に資する教育を進めるとともに、自ら取り組む奉仕活動などの体験機会を積極的に設ける。</p>	<p>(シ) 都立学校生活指導指針に基づき、全教職員による組織的な生活指導体制を構築し、生徒情報の共有を図る。</p> <p>(ス) いじめの未然防止に向けて、日常的な生徒の様子の観察を行い、スクールカウンセラーとの連携を通して相談体制を充実させ、早期発見・早期対応に努める。</p> <p>(セ) 地域や関係機関と連携した避難訓練や防災教育の実施し、緊急時の対応力を高める。</p> <p>(ソ) グループエンカウンター等の実施により、人間関係を円滑にさせ、中途退学者数を減少させる。</p> <p>(タ) 生徒が主体的に自己の生活環境を改善できるよう健康管理を徹底する。</p> <p>(チ) 給食の時間を通して、食生活におけるマナーや円滑なコミュニケーション力を育て人間関係形成力の向上を図る。</p>	<p>(て) 生徒の基本的生活習慣やマナーを確立させる指導に努め、「挨拶」「身だしなみ」「時間を守る(遅刻、無断欠席)」「話を聞く態度」「環境整備」等について組織的な指導をおこなう。</p> <p>(と) グループエンカウンターを活用と家庭との連携力を強化し、生徒の出席率を向上させ、中途退学者を減少させ、進級・卒業率を高める。</p> <p>(な) 生徒の生活時間や交友関係の把握に努め、保護者やスクールカウンセラーと連携し、きめ細やかな生活指導を行う。また、禁煙指導を徹底し、望ましい生活習慣の形成を通じて、生徒の健全な成長を支援する。</p> <p>(に) セーフティ教室等を活用し、登下校時の通学マナーや安全に行動できる資質や能力を習得させる。</p> <p>(ぬ) 学校いじめ対応委員会を組織し、特別な支援や配慮が必要な生徒の情報共有を行う。</p> <p>(ね) スクールカウンセラーと連携して教育相談機能を充実させ、校内研修を実施する。</p> <p>(の) 環境整備意識の向上をめざし、清掃指導やごみの分別指導を徹底して実施する。</p> <p>(は) 給食を通じて、食育、食事のマナーや人間関係形成能力を含めた食育指導の充実を図る。</p> <p>【数値目標】</p> <p>①生徒 転退学率 10%以内</p> <p>②学校通信発行回数 12回以上</p> <p>③安全・健康に関する講演指導 10回以上</p>
進路指導	<p>(1) 4年間を見通したキャリア教育全体計画を策定し、1年次から自分自身の生き方やあり方を考えさせるとともに、生徒意識調査や職業適性検査、進路先調査、資格取得を含む計画的で系統的な指導を行い、進路決定に向けた指導を充実させる。</p> <p>(2) 就労体験や関係諸機関との連携を通じて、生徒に奉仕活動などの体験を多く提供し、社会性やビジネスマナーを実践的に学ばせるとともに、望ましい職業観や勤労観を育成する。</p>	<p>(ツ) キャリアガイダンスを計画的・系統的に実施し、生徒の生き方やありかたを尊重し、目標を明確に設定した進路指導をおこなう。</p> <p>(テ) 進路指導部と学年・教科が連携し、進路に関する取組を推進し、資格取得へ向けた指導を充実させる。</p> <p>(ト) 資格取得のための学習指導を計画的かつ系統的に行い、就職希望者、進学希望者それぞれの進路決定に生かす。</p> <p>(ナ) ビジネスマナーに関する指導の徹底を図る。</p>	<p>(ひ) 過去の進路情報基に、4年間を見据えた進路指導を実施するためにキャリア教育全体計画を確立し、ハローワーク及び進路指導部・担任・各教科が連携して組織的に進路指導に取り組む。</p> <p>(ふ) 「キャリアガイダンス」や「インターンシップ等」を活用し、ビジネスマナーやコミュニケーション能力を育成するとともに、キャリア形成能力や進路意識を確立させる。</p> <p>(へ) ジョブサポーターと連携して、生徒自身が卒業後に向けてキャリアについて考えるための進路学習及び事前・事後の指導計画の改善を図る。</p> <p>(ほ) 系統的な指導計画に基づく資格取得や、進路相談体制を充実させ、生徒一人ひとりの進路実現を図る。</p> <p>【数値目標】</p> <p>①ハローワーク(ジョブサポーター)との連携 20回以上</p> <p>②4年生の進路決定率 80%以上</p> <p>③就職希望者内定率 100%以上</p>
特別活動等	<p>(1) 学習と特別活動の両立により、豊かな人間性の育成と個性の伸長を図るとともに学校への帰属意識、連帯感、達成感等を高めさせる。</p> <p>(2) 英語を活用した取組を充実させ、海外への関心、英語を用いたコミュニケーションを通じて、国際感覚を醸成する。</p>	<p>(二) 4年間を見通したホームルーム指導計画の策定し、特別活動の充実を図る。</p> <p>(又) 生徒会や生徒の委員会組織を活性化させ、生徒一人ひとりが主体的に活躍できる場を提供する。</p> <p>(ネ) TOKYO ACTIVE PLAN for Students を参考に部活動や体育的行事を通じた体力向上の取組を充実させる。</p>	<p>(ま) 特別活動の生徒主体的な運営により達成感、帰属意識、連帯感を高めさせる。</p> <p>(み) ホームルームや学校行事を通して社会性や豊かな人間性を育み自主性・自律性を高めさせる。</p> <p>(む) 部活動の環境を整備し、各種大会への参加を促進する。</p> <p>【数値目標】</p> <p>①学校行事出席率 70%以上</p> <p>②部活動加入率 70%以上</p> <p>③部活動大会参加 1回以上</p>
募集・広報活動	<p>(1) 本校の教育活動を地域、中学生、保護者等にPRし、本校で学びたいと希望する生徒を募集する</p> <p>(2) 募集対策活動を充実させ、入学選抜での適正な倍率を確保する。</p>	<p>(ノ) 意図的・計画的な広報活動を実施し、地域、中学生の本校への関心を高める。</p> <p>(ハ) 授業公開、学校説明会を通じて、夜間定時制で学ぶ意義、魅力を発信し、入学希望者増加に努める。</p>	<p>(め) 行事予定や生徒様子を、ホームページなど多様な広報手段を通じて積極的に発信する。</p> <p>(モ) 授業公開、学校説明会、中学校訪問、ホームページ等募集活動の改善と充実を図る。</p> <p>【数値目標】</p> <p>①中学校訪問 40校以上</p> <p>②授業公開・体験入学来場者数 10名以上</p> <p>③入学選抜応募倍率 1.0倍以上</p>